



ふくろい

市議会 だより

02 ページ 6月定例会の概要

04 ページ 市政に対する一般質問

10 ページ 常任委員会レポート



夏へ向けて発射。「竹水鉄砲遊び」

7月3日に雨上がりの笠原幼稚園で、園児たちが竹水鉄砲遊びを楽しみました。水鉄砲は、近くに住む竹原善一郎さんの手作り。子供たちは、竹原さんに使い方を教えてもらって、あっという間に水鉄砲の使い手に。写真には写っていませんが、楽しむ園児たちに、目を細める竹原さんの充実感ある笑顔も印象的でした。

6月定例会



袋井北小校舎増築工事の 契約締結を可決

平成19年6月定例会は、6月5日から21日までの17日間の会期で開催されました。今定例会では、市長から提出された平成19年度袋井北小学校校舎増築工事(建築)についての工事請負契約締結をはじめ、一般会計補正予算、手数料条例の一部改正など12議案と議員提出の4議案、及び3件の報告が上程され、採決の結果、いずれも原案どおり可決・同意しました。

また、市政に対する一般質問は、12人の議員が市長の見解をたどしました。

条例改正

手数料条例の一部改正

建築基準法の改正に伴い、構造計算適合性判定と計画通知等の手数料を追加するものです。

水道事業の設置に関する条例の一部改正

久能向土地区画整理事業の換地処分による町名変更に伴い、水道事業の給水区域に新町名の「天神町一丁目〜三丁目」を加えるものです。

消防団員等公務災害補償条例の一部改正

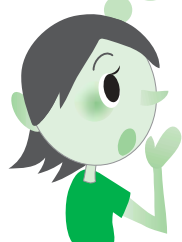
非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、損害補償算定の基礎となる補償基礎額の扶養加算を引き上げるため、改正するものです。

災害業務に従事した者に対する

損害補償に関する条例の一部改正

損害補償の種類等について準用している消防団員等公務災害補償条例が一部改正されたことに伴い、関連する条項を改正するものです。

条例は、必要に応じて改正されているのね!





校舎増築工事の起工式が行われた袋井北小学校(来年2月末完成予定)

一般会計補正予算

今回の補正予算は、6億4,800万円を増額するものです。
 これにより、平成19年度一般会計予算総額は267億7,800万円となりました。主な事業等は次のとおりです。

強い農業づくり交付金

(約6億4,117万円 うち県費100%)

市内農業生産法人2業者が行う荒茶加工施設の建設事業に対して、産地競争力の強化を目的とする「強い農業づくり交付金」を交付するものです。

袋井地域再生マネージャー事業委託料

(1,500万円 うち(財)地域総合整備財団から2/3助成)

農業と農業文化を経営資源とした新たな産業創出と地域づくりを進めるため、地域再生マネージャーに委託し、中核となる組織づくりと地域の活性化に向けた事業を推進するものです。

人事

現人権擁護委員の任期満了に伴い、市長の推薦する次期候補者について意見を求められ、原案のとおり同意しました。

人権擁護委員(敬称略)

再任 山下喜啓・永田遵

新任 田口康弘・寺田久美子・近藤多門

広岡 宥樹 議員

全国一斉学力テスト 競争・比較は不可避

Q 問 43年ぶりのテスト。1960年代初頭に一度行われたが、競争をあおり、教育を壊すものとして4年で中止。危険性は今も変わっていない。どう防ぐか。

A 答 学力育成の成果を客観的に判断するために有効な調査(テスト)だったと認識している。今後は本調査を有効活用し、教育の充実を図っていく。

Q 問 小6、中3が対象。全国で233万人、袋井市で1,284人が参加。答案、生活データは、学校の先生方の目に触れることなく、67億円とともに受験企業に。情報の安全性に不安はないか。

A 答 国は、個人情報や機密情報について厳重な取り扱いを定めており、万全の対策が取られていると考える。信じるしかないと思う。

後期高齢者医療保険は 高齢者の新たな負担増に

Q 問 新たな高齢者叩き。高齢市民の利益を守る構えは。

A 答 本制度は、老人保健の趣旨を発展的継承するもの。国民皆保険を堅持し、安定的で継続可能なものにするためのものと認識している。制度を維持し、高齢者の利益を守るために努力する。



全国一斉に行われた学力学習状況調査

戸塚 文彦 議員

合併後の検証をアンケートで

Q 問 旧浅羽住民をはじめとして広く合併の効果や不便はないかなど、様々な項目でアンケートを実施すべきでは。

A 答 地域審議会や自治会連合会、各種施策の地元説明会等の折に、今後も地域の声を伺っていききたい。

ひとり暮らしの高齢者対策は

Q 問 現在ひとり暮らしの高齢者は何人おり、うち認知症のひとり暮らしの高齢者は何人か。また、その取り組み状況はどうか。

A 答 現在250人のひとり暮らしの高齢者がおり、緊急通報システム機器を貸与し、消防署や親族等に連絡できる体制をとっている。認知症でひとり暮らしの高齢者数は明確でない。

地域資源活用策として、 「袋井の桜100選」を提案

Q 問 地域で誇れる桜・市民に見てもらいたい桜を市民から公募し、広く紹介して観光振興に活用できないか。

A 答 桜の見所リストを作成する等、新たな地域資源として本市PRに活用したい。



原野谷川堤防の桜並木



市政に対する一般質問

よりよいまちづくりを目指して



浅田 二郎 議員

浅羽支所がまたまた縮小

Q 問 支所では、職員数の減少、「課」数の半減などに加え、分掌事務でも「〇〇の受付に関すること」などのように受付業務等が主となった。これでは「出張所」で「支所」の役割を果たせないのではないか。

A 答 地域住民の利便性と行政の効率化の両面から組織編成を行うとともに、身近な行政サービスは維持しつつ、業務の効率化に努めた。事務分掌は、利用者の利便性とサービスの質と業務の効率性向上を考慮し、本庁との役割分担を図った。

どうする(仮称)総合健康センター

Q 問 総合計画等でも、保健・医療・福祉の拠点としての(仮称)総合健康センター整備事業は、重点施策の一番に掲げられている。しかし、なんら進んでいない。センターの位置づけと今後の検討方向はどうか。

A 答 本施設は、市民の健康を総合的に支える拠点施設としてとらえている。今後、新市民病院の整備と合わせて、建設の時期等についても様々な観点から検討する。



浅羽支所

田中 克周 議員

バランスシートの作成は

Q 問 新市になってバランスシートの公表がなされていないが、作成状況はどうか。

A 答 17年度決算のバランスシートと行政コスト計算書を作成した。今定例会で報告予定。地方公共団体は、これまで以上に責任ある地域経営が求められる。今後、総務省の新基準による内容に従い作成する。

EM菌を利用する考えは

Q 問 農業面及び生活環境面において、EM菌の活用をどのように考えるか。

A 答 EM菌は農業分野における土壌改良材として開発され、抗酸化力が強く、様々な分野で一定の効果があるようだが、公的機関では具体的効果が示されていない。今後の研究課題としたい。

市の考える徳育推進とは

Q 問 市が考える「徳のある市民像」とは、具体的にどのようなものか。

A 答 「思いやりの心や自分を律する心」、「地域や自然を愛する心」などを備えた、「人のために何かができる心豊かな人」ととらえ、引き続き、その具現化に向けて取り組んでいく。



水質浄化のため川にEM菌培養液を流す環境保全団体

寺井 雄二 議員

150号バイパス整備に伴い 地域が潤う「道の駅」を検討できないか

Q 問 直線道路がかなわなかった場合、150号バイパス整備に伴い、「道の駅」を設け、地域の活性化が図られないか。

A 答 「道の駅」の施設整備は、新たなバイパス整備をする中で、検討を進めることは有意義なことと考える。

双子さん達等への子育て支援は どのようになっているか

Q 問 多胎児を持つ親は、子育てに非常に苦慮されているが、市としてどのように支援をされているか。

A 答 駐車スペースの整備や、双子用カートの配備を検討してもらうよう、商工会議所を經由して各店舗へ働きかけたい。

収入役制を廃止して 副市長を担当制にしたら

Q 問 多くの課題を解消させるために、副市長を二人制としてまちづくりに対応させたらどうか。

A 答 今後は、都市の規模や行政課題を考慮して、複数副市長制を総体的に検討する。



神長地内のスーパーで利用されている二人乗りカート

高橋 美博 議員

山梨公民館がサンライフ袋井へ 移転されるとのことだが

Q 問 来年4月から移転決定とされているが、これまでどのような協議がなされてきたか。

A 答 15年には、公民館運営委員会から、18年には地域住民の総意としてそれぞれ要望書が出され、山梨公民館、サンライフ袋井など関係者や利用者の代表により協議を行ってきた。

Q 問 移転の理由は。月見の里学遊館のどこに問題があるのか。

A 答 公民館事務所の位置がわかりにくい、会議室やホールの予約が思うようにとれない等問題が生じていた。地域住民総意のもとで公民館活動を一層活発化していくために、単独の公民館の意義は大きいと受け止めている。

Q 問 移転に向けて今後整理すべき課題はなにか。

A 答 勤労青年層と中高年令層を対象とした事業の一体的かつ総合的な展開や、サンライフ袋井において登録されているグループの継続使用など、利用している方のより一層の利便性の充実に努めたい。



労働者福祉センター「サンライフ袋井」

芝田 禮二 議員

乳幼児保育問題への 取り組みと対策は

Q 問 待機児童の実態とゼロに向けた取り組みはどうか。

A 答 本年4月1日現在の保育所待機児童数は42名。既存幼稚園の幼保園化の検討、認可外保育園の支援と認可化の促進にも取り組みたい。

Q 問 袋井市の保育料滞納の額と今後の対策はどうか。

A 答 18年度単年度では37世帯338万円余、累計で1,200万円余となっている。通知文書や電話、面談での督促等で回収している。悪質な方には、法的手段の検討も考えている。

工業団地・工業用地の 進捗と方向性は

Q 問 山科東工業団地及び小山工業用地の進捗と小笠山麓の今後の方向性はどうか。

A 答 山科東工業団地は、本年度、造成工事等を予定。小山工業用地は、農地法で定める不許可の例外規定に基づく許可申請の手續準備中である。小笠山麓については、地域の合意形成や地権者の理解を得ることを最優先とし、法的規制の解除に取り組みたい。



調整池の工事が進む山科東工業団地

廣岡 英一 議員

浅羽海岸地域の 環境・景観形成のために

Q 問 養浜と景観形成に必要な海浜植物の保全活動のため、車両の乗り入れ規制ができないか。

A 答 近隣市と同一歩調が必要。法的規制だけでは海岸保全は困難なので、浅羽海岸クリーン作戦、海浜植物の保全を訴える看板設置等を実施してきた。今後も、継続してPR活動したい。

Q 問 グリーンウェイブ地などの日常的な管理には、有償ボランティアの組合を設立すべきと考えるがどうか。

A 答 市と地元住民、協力企業、緑のボランティア等の協力連携が必要。御前崎方式を参考事例として、体制づくりに努めたい。

郷土の偉人の顕彰と 「偉人館」の設置を

Q 問 人づくりや地域づくり、徳育の推進には、郷土の偉人をさらに顕彰し、学び合うことが有効ではないか。

A 答 副読本へ取り入れるなど、機会あるごとに郷土の偉人を顕彰していきたい。偉人館の設置は、将来的な郷土資料館、文化施設のあり方として参考にした。



車両乗り入れにより植物が枯れ、砂の飛散が拡大する海岸

村松 尚 議員

地球温暖化対策を

Q 問 公用車の省エネ車への転換を図ったらどうか。

A 答 現在ハイブリッド車5台を保有。公用車は、極力、軽自動車へ買いかえている。今後とも低燃費車や低排出ガス対応車を購入するとともに、アイドリングストップなどソフト面にも力を入れ、地球環境に配慮した取り組みを進める。

Q 問 家庭での電球形蛍光灯の普及の考えはどうか。

A 答 値段が高いのが欠点だが、省エネ対策に非常に効果があるので、他の省エネルギー機器とあわせ、広報紙等を通じて各家庭への普及啓発に努めたい。

外国人の子供への 言葉習得のための支援を

Q 問 市内在住の外国人の児童生徒に、日本語、母国語を指導する施設に対して補助を考えたかどうか。

A 答 NPO法人が行っている放課後日本語支援教室は、独立行政法人福祉医療機構の助成を今年度限りで受けている。次年度以降は市の協働まちづくり事業の制度を活用いただければと考える。



愛野地区のブラジル人学校

竹原 和義 議員

原野谷川堤防有効活用の考えは

Q 問 湊川井線の渋滞緩和のため、諸井新屋から松袋井に架かっていたもぐり橋を再構築してはどうか。

A 答 提案の橋を新設し、国道150号線から彦島、さらに小山インターに通じる新たな南北道路を構築する計画は、現時点ではない。今後、交通実態調査等をもとに広域的な道路網を計画する中で、必要性を検討したい。

市民と協働の提案制度は

Q 問 「市政の主人公は市民」の実現のため「(仮称)夢・市民の協働事業提案制度」を提案する。

A 答 本市の協働まちづくり事業は、本年度から本格的な取り組みを始めたところ。今後、先進地を参考にすることで、制度内容の充実を図りたい。

川村^{きざん}驥山生誕の地として

Q 問 「川村驥山、生誕125年」歴史資料記念館建設計画の考えはどうか。

A 答 今後も、書文化の振興の一環として、川村驥山先生の顕彰に努め、本市ゆかりの文化人を顕彰する郷土資料館等のあり方についても、この提案を今後の貴重な意見として参考にしたい。

書道界で初めて日本芸術院賞を受賞するなど、書の第一人者として活躍した市内村松出身の書家。



諸井新屋と松袋井を結んでいた「もぐり橋」跡地

高木 清隆 議員

中心市街地活性化基本計画 策定に向けて

Q 問 計画策定前に、中心市街地の衰退要因として、現状のどこに問題があるのか、その原因は何か、その上で現状の何を変えるべきかを、どう分析しているのか。

A 答 周辺の定住人口や商店街通行量の減少、大型商業施設の撤退が大きな要因。人が住む場、人が働く場、商業の場等の都市機能を取り戻す必要があると考える。

Q 問 計画策定にあたり、具体的に実践する仕組みとして、どこで・なぜ・誰が・いつ・どのようにを示す戦略の策定が必要ではないか。

A 答 新たな基本計画では実効性のある事業を計画。これに基づく事業を確実に実行すべく、総合的な視点で戦略を検討する必要がある。

Q 問 都市計画マスタープランとの整合性を図るべきと考えるがどうか。

A 答 策定中の都市計画マスタープランでは、袋井駅周辺は、商業系地域として都市拠点の中心核と位置づけ、土地利用を充実させる方針で、この基本計画との整合性を図るよう努めてきた。



JR袋井駅舎の完成予想図(平成22年度供用開始予定)

佐藤 省二 議員

発達障害児を早期発見 するための体制は

Q 問 言葉や体の成長、精神の発達遅れのある幼児を早期発見するための体制はどうか。

A 答 1歳6カ月から3歳までの半年ごとの健診等に加え、1歳6カ月児と3歳児健診では、小児科医の診察とともに臨床発達心理士の相談を導入し、発達障害等の早期発見に努めている。

対象児の親の会についての考えは

Q 問 近隣のまちでは親同士がコミュニケーションを取り合い安心できる集まりがある。本市にどうか。

A 答 基本的には本市に一つある親の会に加わっていただくための支援をしたい。また、会の新設も支援したい。

早期療育施設の建設は

Q 問 常時継続的に決まった場所で療育することが不可欠。専門職員の配置を求める。

A 答 早期療育施設の整備は、総合計画、障害者計画に位置づけ、検討委員会を立ち上げて、年度内に早期療育システムの構築に必要な施設整備への提言をいただく中で、方向性を決定したい。



臨床発達心理士による相談も行う「カンガルーのぼっけ」

レポ ー ト



園児数が増加している山梨幼稚園

（仮称）山梨幼保園の整備方針では、400人前後の規模とされているが、適正規模についてどう考えているのか。

総務文教
委員会

全市的な事業に対する補助金もあり、地域性が非常に強い補助金もある。補助金等を見直すに当たっては、そういった分類をしながら、基準づくりを進めてまいりたい。

補助金の見直しは必要だが、本当に地域の人たちが守り育てていこうという活動に対する補助はしていかなければならないと思うがどうか。

総務文教
委員会

幼稚園、保育所合わせて400人前後と考えているが、今後もう少し詳細に検討しなければならない。大規模だと「目が届かない」、「危険ではないか」と心配が先に立つが、現在、園児数の多い山梨幼稚園・袋井南幼稚園を訪れると非常に活気があり、子供達も集団の規律等も守れているので、現時点では心配していない。

い山梨幼稚園・袋井南幼稚園を訪れると非常に活気があり、子供達も集団の規律等も守れているので、現時点では心配していない。



袋井市民病院経営改善実施計画について、その内容は、

民生福祉
委員会

市民病院の最大の課題である医師確保の問題とともに、経営改善に向けたいくつかの取り組みを行い、さらなる効率化を図る。内容的には、医師確保プロジェクトチームの活動を強化する。職員数の適正化や当直明け勤務免除制度の拡充など、業務体制や労働環境を改善するとともに、市民への情報提供を徹底する。

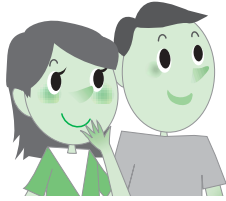


経営改善に向けた取り組みを進める市民病院

袋井市食育推進計画の内容は、どのようなもので、どう進めていくのか。

民生福祉
委員会

国は「食育基本法」を施行し、18年3月に「食育推進基本計画」を策定した。食育とは食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てることと考える。近年はライフスタイルの多様化により、孤食、欠食や栄養の偏りなど食生活上の問題が指摘されている。学校や公民館などにおいて、健康を大切にすること、食を楽しむ心を育てる施策を展開するとともに、家庭での食生活が基本であることから、父母への啓蒙活動等にも取り組むことが重要であると考ええる。



常任委員会



調整池用地として取得する諸井地内の土地

現況が雑種地であり埋め立てられているため、まずは土を排除して、水を貯留できるようにしたい。将来的には、近隣に里山があるため、修景的なものも検討したい。

調整池整備のため、諸井地内の土地を取得することであるが、どのように整備するか。

建設経済委員会

市内の農業生産法人2社が荒茶加工施設を建設する事業費に対して交付される県の交付金であり、その内容は、建屋、機械設備、その施設的设计・監理の経費と若干の事務経費であり、用地にかかる経費は対象外である。

今回、補正予算に計上された「強い農業づくり交付金」の対象となる事業はどんな内容か。

建設経済委員会

下水道整備の促進に関する意見書

下水道は、生活環境の改善、公衆衛生の向上、良好な水環境の回復保全に必要な社会基盤施設であり、本市においても公共下水道の整備を積極的に推進しているが、平成17年度末の本市普及率は28.9%で、全国平均の69.3%と比べると大きく遅れている。

さらに、市町村合併において事業の円滑な整備を推進するため下水道施行令による特別措置が講じられているが、その期限は平成19年度末であるため、その後の下水道整備の遅れが懸念される。

よって国においては、下記事項の実現を図ることを強く要望する。

1. 下水道整備の着実な推進と下水道普及率の地域間格差の是正を図るため、十分な予算措置を講ずること。
2. 合併後の市町において、平成20年度以降の下水道普及率の伸びを確保するとともに、下水道整備に遅延が生ずることのないよう下水道施行令による合併特例措置の延長を図ること。

衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣あてに提出しました。

静岡県中東遠地域における公立病院の医師の充足と大学医学部定員の増員に関する意見書

近年、全国各自治体病院において医師不足が深刻な問題となり、特に中東遠地域の人口10万人当たりの医師数は、医師数が全体的に少ないといわれる静岡県内でも最も少ないうえ、新医師臨床研修制度義務化に伴い、さらに急速な医師の減少を招いている。

医師不足は、偏在によるものではなくこれまでの国の医師抑制策に起因するもので、本市としても、自治体の責務に鑑みて誠に憂慮に耐えない。

よって下記事項について、国及び静岡県の緊急対策を強く要望する。

1. 中東遠地域の公立病院への医師の充足配置によって、各病院の診療機能を低下させないよう、国及び県において可能な限りすべての緊急対策を実施すること。
2. 大学医学部定員の増員等によって十分な医師養成を行うとともに、医療格差が生まれない医師の配置について緊急対策を実施すること。

内閣総理大臣、厚生労働大臣、静岡県知事あてに提出しました。

意見書（要旨）

9月定例会のお知らせ・表彰 ほか

9月市議会定例会は
次のとおり行う予定です

【場 所】

市役所5階議場または各委員会室

【時 間】

午前9時から(最終日については、午後1時
30分からを予定しています。)

【日 程】

- 9月 4日(火) 開会、議案の説明
- 10日(月) 市政に対する一般質問
- 11日(火) 市政に対する一般質問
- 12日(水) 市政に対する一般質問
- 13日(木) 議案の審査(常任委員会)
- 14日(金) 議案の審査(常任委員会)
- 25日(火) 委員長報告～採決、閉会



あなたも議事を
傍聴してみませんか

当日、受付をしますので、市役所5階の
議会事務局までお越しください。

議場のバリアフリー化を目指し、段差
解消機及び車イス優先の傍聴スペースを
設置しています。また、耳の聞こえにくい
方には、赤外線補聴システムを利用した
補聴器を用意しています。

足の不自由な方、妊婦の方なども段差
解消機を利用し傍聴席へ入れます。
段差解消機、赤外線補聴システムをご利
用の際は、議会事務局へ声をおかけ
ください。

こちらもぜひご覧ください

市ホームページへアクセス!

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>



クリック!



「市議会本会議の
インターネット
中継」を

クリック!

「市議会の
本会議会議録の
検索」を

クリック!

市議会のライブ中継を
行っています



インターネット中継ページ

より開かれた市議会を
目指し、定例会、臨時会の本会
議ライブ中継を行っており、
市議会ホームページでご覧
いただけます。なお、市ホ
ムページからインターネット
中継ページへの移動方法
は上のとおりです。

会議録が
検索できます



会議録検索ページ

本会議の会議録が、キーワ
ードなどを入力することにより、
見たい箇所が簡単に検索で
きますので、ぜひご利用くだ
さい。なお、市ホームページ
から会議録検索ページへの
移動方法は上のとおりです。

全国市議会 議長会の表彰



去る6月19日、東京日比谷公会堂において、第83回全国市議会議長会定期
総会が開催され、永年勤続議員に表彰状が贈呈されました。

本市議会では永田勝美議員が議員在職10年以上により表彰を受けました。

ふくろい
市議会
だより

NO.12

発行 / 静岡県袋井市議会
発行日 / 平成19年7月15日

〒437-8666 袋井市新屋1丁目1番地の1
TEL.(0538)44-3143(直通) FAX.(0538)44-3148
ホームページ <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
メールアドレス gikai@city.fukuroi.shizuoka.jp



PRINTED WITH
SOY INK

古紙配合率100%の再生紙と
ソイインキ(大豆油インキ)を
TM使用しています。

編集後記

6月定例会では、
市民生活に関わる
様々な問題について、
活発な論議が交わ
されました。
広報委員会では、
それらの内容をでき
るだけ分かりやすく
掲載するよう努め
ました。今後も市民
の皆様から多くの
ご意見をいただき、
よりよい広報紙に
してまいりますの
で、よろしく願い
いたします。